

6 中学校及び義務教育学校特別支援学級卒業者の進路状況

(1) 進路の状況

卒業者の進路状況は、表 18 のとおりである。

卒業者 1,575 人のうち、進学者(進学者のうち就業している者を含む。)が 1,511 人(95.9%)で、前年度(97.0%)より 1.1 ポイント減少した。

(Ⅲ統計表：第 29 表参照)

表 18 中学校及び義務教育学校特別支援学級：状況別卒業者数

卒業年度	卒業者計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者
								のうち就業 している者
25	1,288 (100.0)	1,242 (96.4)	14 (1.1)	— —	9 (0.7)	21 (1.6)	2 (0.2)	1 (0.1)
26	1,388 (100.0)	1,339 (96.5)	24 (1.7)	3 (0.2)	5 (0.4)	17 (1.2)	— —	— —
27	1,415 (100.0)	1,369 (96.7)	25 (1.8)	— —	6 (0.4)	10 (0.7)	5 (0.4)	— —
28	1,625 (100.0)	1,573 (96.8)	24 (1.5)	— —	7 (0.4)	11 (0.7)	10 (0.6)	— —
29	1,625 (100.0)	1,577 (97.0)	18 (1.1)	— —	11 (0.7)	17 (1.0)	2 (0.1)	— —
30	1,575 (100.0)	1,511 (95.9)	35 (2.2)	2 (0.1)	8 (0.5)	17 (1.1)	2 (0.1)	— —

注1) 「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

2) 「就業者」には「専修学校等入学者のうち就業している者」を含み、「進学者のうち就業している者」は含まない。

(2) 進学者の状況

進学者(進学者のうち就業している者を含む。)1,511 人のうち、特別支援学校の高等部へ 900 人(進学者の 59.6%)が進み、高等学校全日制課程(高等専門学校を含む。)へ 311 人(20.6%)、定時制課程へ 123 人(8.1%)、通信制課程へ 177 人(11.7%)が進んでいる。

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

(3) 就業者の状況

就業者 8 人の就業形態は、「常雇」が 4 人、「自営」が 1 人、「家業従事」が 1 人、「パートタイム」が 2 人であった。

(Ⅲ統計表：第 32 表参照)

7 特別支援学校卒業者の進路状況

(1) 都立特別支援学校(視覚障害)

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 19 のとおりである。

表19 都立特別支援学校小学部(視覚障害):状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者				都立 進学	外 校 中 等 学 者	そ の 他
		計	公 立	特 別 支 援 学 校 (再 掲)	国 立			
25	9	9	9	9	-	-	-	-
26	6	5	5	5	-	-	1	-
27	9	9	9	9	-	-	-	-
28	12	12	12	12	-	-	-	-
29	12	11	11	10	-	-	1	-
30	10	9	7	6	2	-	1	-

(Ⅲ統計表:第 28 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 20 のとおりである。

表20 都立特別支援学校中学部(視覚障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社 会 福 祉 施 設 入 所 者 通 所 者	就 業 者	在 家 庭 者	そ の 他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
25	14	14	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
26	16	16	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
27	16	16	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
28	14	14	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
29	13	13	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
30	18	18	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-

(Ⅲ統計表:第 29 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 21 のとおりである。

卒業生 26 人のうち、進学者は 5 人(卒業生の 19.2%)で、内訳は「大学」が 3 人、「短期大学」が 1 人、「特別支援学校専攻科」が 1 人となっている。

就業者は 8 人(卒業生の 30.8%)で、形態別にみると、「常雇」が 8 人となっている。職業別にみると、「あんま・はり師・指圧・きゅう師・マッサージ」が 6 人、「サービス職業」が 2 人となっている。

表21 都立特別支援学校高等部(視覚障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち 就業している者	
25	43 (100.0)	10 (23.3)	-	14 (32.6)	12 (27.9)	7 (16.3)	-	-	-
26	39 (100.0)	7 (17.9)	2 (5.1)	11 (28.2)	7 (17.9)	11 (28.2)	1 (2.6)	-	-
27	40 (100.0)	8 (20.0)	-	15 (37.5)	8 (20.0)	9 (22.5)	-	-	-
28	27 (100.0)	6 (22.2)	3 (11.1)	8 (29.6)	6 (22.2)	4 (14.8)	-	-	-
29	40 (100.0)	8 (20.0)	2 (5.0)	9 (22.5)	9 (22.5)	12 (30.0)	-	-	-
30	26 (100.0)	5 (19.2)	1 (3.8)	7 (26.9)	8 (30.8)	5 (19.2)	-	-	-

注1)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第35・36・38・39表参照)

(2) 都立特別支援学校(聴覚障害)

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 22 のとおりである。

表22 都立特別支援学校小学部(聴覚障害):状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外 中学校 進学者	その他	
		計	公立	特別支援 学校(再掲)		国立			私立
25	38	38	38		38	-	-	-	
26	35	34	34		34	-	-	1	
27	48	48	47		47	1	-	-	
28	43	43	43		43	-	-	-	
29	45	43	43		42	-	-	2	
30	39	37	35		33	-	2	2	

(Ⅲ統計表:第 28 表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 23 のとおりである。

表23 都立特別支援学校中学部(聴覚障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち 就業している者	
25	48 (100.0)	48 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-
26	53 (100.0)	53 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-
27	54 (100.0)	54 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-
28	49 (100.0)	49 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-
29	44 (100.0)	43 (97.7)	-	-	-	1 (2.3)	-	-	-
30	54 (100.0)	54 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-

(Ⅲ統計表:第 29 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 24 のとおりである。

卒業者 77 人のうち、進学者は 38 人(卒業者の 49.4%)で、内訳は「大学」が 24 人、「短期大学」が 2 人、「特別支援学校専攻科等」が 12 人となっている。

就業者は 29 人(卒業者の 37.7%)で、形態別にみると、「常雇」が 18 人、「パートタイム」が 11 人となっている。職業別にみると、「事務」が 13 人、「技能工等」が 10 人、「サービス職業」が 6 人となっている。

表24 都立特別支援学校高等部(聴覚障害): 状況別卒業者数 (単位: 人、%)

卒業年度	卒業者計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就業している者
25	67 (100.0)	30 (44.8)	-	7 (10.4)	25 (37.3)	5 (7.5)	-	-
26	66 (100.0)	31 (47.0)	4 (6.1)	6 (9.1)	25 (37.9)	-	-	-
27	75 (100.0)	38 (50.7)	1 (1.3)	4 (5.3)	30 (40.0)	2 (2.7)	-	-
28	78 (100.0)	33 (42.3)	5 (6.4)	4 (5.1)	32 (41.0)	3 (3.8)	1 (1.3)	-
29	78 (100.0)	42 (53.8)	-	7 (9.0)	26 (33.3)	3 (3.8)	-	-
30	77 (100.0)	38 (49.4)	2 (2.6)	6 (7.8)	29 (37.7)	2 (2.6)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表: 第 35・36・38・39表参照)

(3) 都立特別支援学校(肢体不自由)

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 25 のとおりである。

表25 都立特別支援学校小学部(肢体不自由): 状況別卒業者数 (単位: 人)

卒業年度	卒業者計	都内中学校等進学者					都外中学校等進学者	その他	
		計	公立	特別支援学校(再掲)		国立			私立
				計	再掲				
25	145	145	145	145	-	-	-	-	
26	164	164	145	145	10	9	-	-	
27	131	130	123	123	7	-	1	-	
28	151	149	149	147	-	-	2	-	
29	132	131	131	128	-	-	1	-	
30	121	121	121	119	-	-	-	-	

(Ⅲ統計表: 第 28 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 26 のとおりである。

表26 都立特別支援学校中学部(肢体不自由):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
25	182 (100.0)	181 (99.5)	-	-	-	1 (0.5)	-	-
26	175 (100.0)	175 (100.0)	-	-	-	-	-	-
27	181 (100.0)	181 (100.0)	-	-	-	-	-	-
28	168 (100.0)	167 (99.4)	-	-	-	1 (0.6)	-	-
29	194 (100.0)	194 (100.0)	-	-	-	-	-	-
30	140 (100.0)	136 (97.1)	-	-	-	4 (2.9)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第 29 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 27 のとおりである。

卒業生 186 人のうち、社会福祉施設入所、通所者が最も多く 171 人で、卒業生に占める割合は、91.9%となっている。社会福祉施設入所、通所者のうち在学中から入所、通所している者が 4 人(社会福祉施設入所、通所者のうち 2.3%)となっている。

表27 都立特別支援学校高等部(肢体不自由):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
25	181 (100.0)	4 (2.2)	4 (2.2)	155 (85.6)	5 (2.8)	12 (6.6)	1 (0.6)	-
26	195 (100.0)	8 (4.1)	4 (2.1)	170 (87.2)	6 (3.1)	7 (3.6)	-	-
27	177 (100.0)	10 (5.6)	5 (2.8)	152 (85.9)	4 (2.3)	5 (2.8)	1 (0.6)	-
28	196 (100.0)	6 (3.1)	2 (1.0)	174 (88.8)	6 (3.1)	6 (3.1)	2 (1.0)	-
29	190 (100.0)	6 (3.2)	5 (2.6)	165 (86.8)	8 (4.2)	6 (3.2)	-	-
30	186 (100.0)	1 (0.5)	3 (1.6)	171 (91.9)	5 (2.7)	6 (3.2)	-	-

(Ⅲ統計表:第 35・37表参照)

(4) 都立特別支援学校(知的障害)

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 28 のとおりである。

表28 都立特別支援学校小学部(知的障害):状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外中学校等進学者	その他
		計	公立	特別支援学校(再掲)	国立	私立		
25	386	383	383	379	-	-	3	-
26	392	388	374	373	13	1	3	1
27	376	376	365	365	-	11	-	-
28	377	376	376	373	-	-	1	-
29	399	398	397	395	-	1	1	-
30	449	448	447	444	1	-	1	-

(Ⅲ統計表:第28表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 29 のとおりである。

表29 都立特別支援学校中学部(知的障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就業している者
25	529	524	-	2	-	3	-	-
	(100.0)	(99.1)	-	(0.4)	-	(0.6)	-	-
26	497	494	-	-	-	2	1	-
	(100.0)	(99.4)	-	-	-	(0.4)	(0.2)	-
27	566	563	-	1	-	2	-	-
	(100.0)	(99.5)	-	(0.2)	-	(0.4)	-	-
28	547	545	-	-	1	1	-	-
	(100.0)	(99.6)	-	-	(0.2)	(0.2)	-	-
29	546	543	-	1	-	2	-	-
	(100.0)	(99.5)	-	(0.2)	-	(0.4)	-	-
30	505	502	-	-	-	3	-	-
	(100.0)	(99.4)	-	-	-	(0.6)	-	-

注)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第29表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 30 のとおりである。

卒業者は1,634人のうち、就業者が811人(卒業生の49.6%)と最も多く、次いで社会福祉施設入所、通所者が765人(卒業生の46.8%)となっている。

就業者を形態別にみると「常雇」が最も多く343人(就業者の42.3%)となっている。職業別にみると「サービス職業」が最も多く448人(就業者の55.2%)となっている。

表30 都立特別支援学校高等部(知的障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
25	1,452 (100.0)	-	17 (1.2)	762 (52.5)	628 (43.3)	44 (3.0)	1 (0.1)	-
26	1,479 (100.0)	3 (0.2)	13 (0.9)	765 (51.7)	656 (44.4)	40 (2.7)	2 (0.1)	-
27	1,512 (100.0)	1 (0.1)	6 (0.4)	756 (50.0)	702 (46.4)	40 (2.6)	7 (0.5)	-
28	1,580 (100.0)	1 (0.1)	10 (0.6)	815 (51.6)	710 (44.9)	44 (2.8)	-	-
29	1,550 (100.0)	2 (0.1)	5 (0.3)	727 (46.9)	774 (49.9)	41 (2.6)	1 (0.1)	-
30	1,634 (100.0)	3 (0.2)	5 (0.3)	765 (46.8)	811 (49.6)	49 (3.0)	1 (0.1)	-

(Ⅲ統計表:第35・38・39表参照)

(5) 都立特別支援学校(病弱)

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表31のとおりである。

表31 都立特別支援学校小学部(病弱):状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外中 学校等 進学者	その他	
		計	公立	特別支援 学校(再掲)		国立			私立
				計	公立				
25	-	-	-	-	-	-	-	-	
26	3	3	3	2	-	-	-	-	
27	-	-	-	-	-	-	-	-	
28	1	1	1	1	-	-	-	-	
29	-	-	-	-	-	-	-	-	
30	-	-	-	-	-	-	-	-	

(Ⅲ統計表:第28表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表32のとおりである。

表32 都立特別支援学校中学部(病弱):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
25	4 (100.0)	4 (100.0)	-	-	-	-	-	-
26	8 (100.0)	7 (87.5)	-	-	-	1 (12.5)	-	-
27	-	-	-	-	-	-	-	-
28	1 (100.0)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-
29	5 (100.0)	5 (100.0)	-	-	-	-	-	-
30	2 (100.0)	2 (100.0)	-	-	-	-	-	-

注)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第29表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 33 のとおりである。

卒業者3人のうち、進学者、社会福祉施設入所・通所者、就業者がそれぞれ1人となっている。

表33 都立特別支援学校高等部(病弱):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就業している者
25	1 (100.0)	-	-	1 (100.0)	-	-	-	-
26	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	-	-	-	-	-
27	2 (100.0)	-	1 (50.0)	1 (50.0)	-	-	-	-
28	3 (100.0)	-	2 (66.7)	1 (33.3)	-	-	-	-
29	6 (100.0)	-	1 (16.7)	-	-	5 (83.3)	-	-
30	3 (100.0)	1 (33.3)	-	1 (33.3)	1 (33.3)	-	-	-

(Ⅲ統計表:第 35表参照)

(6) 区立特別支援学校

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 34 のとおりである。

表34 区立特別支援学校小学部:状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外中学校等進学者	その他
		計	公立	特別支援学校(再掲)	国立	私立		
25	37	36	36	5	-	-	1	-
26	38	36	33	11	-	3	2	-
27	38	38	35	8	-	3	-	-
28	44	43	42	12	-	1	1	-
29	41	40	37	16	-	3	1	-
30	38	37	36	18	-	1	1	-

(Ⅲ統計表:第 28 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 35 のとおりである。

表35 区立特別支援学校中学部:状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就業している者
25	15 (100.0)	14 (93.3)	-	-	-	1 (6.7)	-	-
26	21 (100.0)	21 (100.0)	-	-	-	-	-	-
27	22 (100.0)	21 (95.5)	-	1 (4.5)	-	-	-	-
28	10 (100.0)	9 (90.0)	-	-	-	1 (10.0)	-	-
29	12 (100.0)	12 (100.0)	-	-	-	-	-	-
30	11 (100.0)	11 (100.0)	-	-	-	-	-	-

注)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第 29 表参照)